

災害との付き合い方

～もし有馬-高槻断層が動いたら?! 動く前に…

関西大学社会安全学部は、平成22年4月の開設以降、「安全・安心で質の高い生活のできる国」の実現に貢献する優れた人材を育成するため、自然災害と社会災害という二つの問題を中心に、最先端の教育・研究活動を展開しています。

本講座は、高槻市との地学連携事業における「安全・安心のまちづくりに関する協定」に基づく事業として、平成22年11月から開催し、社会安全学部専任教員による専門研究と、実務担当者によるそれぞれの立場から問題提起しております。

今回は、「災害との付き合い方～もし有馬-高槻断層が動いたら?! 動く前に…」をテーマに講座を開催いたします。多数の皆さまのお申し込みをお待ちしております。

第12回

平成25年

7月6日(土)

会場：関西大学 高槻ミュージズキャンパス
西館2階 マルチミーティングルーム

13:00～16:50(開場・受付12:00～) 受講料: 500円

定員
40名

講演と対談

有馬-高槻断層帯と関西の活断層

産業技術総合研究所
活断層・地震研究センター客員研究員
寒川 旭

●講演1 13:00～14:00

高槻市の地震防災対策と 課題について

高槻市 総務部 危機管理室 主幹
船本 松雄

●講演2 14:00～14:15

地震の正体を見極める目を持つために ～防災教育に参加した子供の発見に学ぶ

時事通信社 編集委員
中川 和之

●講演3 14:15～14:45

※講演1と講演3において一部対談形式による解説を行います。

屋上からの断層見学とQ&A

●見学&解説

14:50～15:20

屋上、10階・空中庭園、12階・西側廊下窓等から、
高槻市の市街地・山間部を眺め、その地理的・地形的
構造について解説

産業技術総合研究所
活断層・地震研究センター客員研究員
寒川 旭

講演

非日常から日常を点検する・ 日常から非日常を想像する

関西大学社会安全学部 准教授
菅 磨志保

●講演4 15:20～16:20

振り返りと総括

時事通信社 編集委員
中川 和之

●講演5 16:20～16:50

※事情により内容に変更が生じる場合があります。

詳しくは裏面をご覧ください

主催：関西大学 後援：高槻市、高槻商工会議所

災害との付き合い方 ~もし有馬-高槻断層が動いたら?! 動く前に...

講演と対談

13:00~14:00 講演1 有馬-高槻断層帯と関西の活断層

産業技術総合研究所
活断層・地震研究センター客員研究員

寒川 旭

有馬-高槻断層帯は、大阪平野の北縁に位置する活断層のグループです。1596年に活動して伏見地震を引き起こしましたが、その時の被害や地盤災害の様子を文字記録や発掘資料から詳しく説明します。一方、南海トラフの巨大地震が近づくと、活断層からの内陸地震が起きやすくなります。この事も踏まえて、関西地域で過去に発生した地震とその被害について紹介します。

14:00~14:15 講演2 高槻市の地震防災対策と課題について

高槻市 総務部 危機管理室 主幹

船本 松雄

高槻市の地震防災対策とその課題について、高槻市の危機管理室に勤務する現場担当者が解説します。

14:15~14:45 講演3 地震の正体を見極める目を持つために~防災教育に参加した子供の発見に学ぶ

時事通信社 編集委員

中川 和之

阿武山がそこにあり、淀川が南西に流れ下っているのは、繰り返し起きた地震による「大土木工事」の結果です。日本地震学会が六甲山で行った「地震火山こどもサマースクール」に参加した子供たちは「山並みが壁っぽい」ことを発見しました。地震による「土木工事」の存在をうまく捉えています。報告ではサマースクールに参加した子供たちの「発見」を紹介しながら、地震との向き合い方を考えます。

※講演1と講演3において一部対談形式による解説を行います。

14:45~14:50

休憩と移動(屋上へ)

14:50~15:20

産業技術総合研究所
活断層・地震研究センター客員研究員

寒川 旭

屋上からの断層見学とQ & A

屋上、10階・空中庭園、12階・西側廊下窓等から、高槻市の市街地・山間部を眺め、その地理的・地形的構造について解説いたします。

15:20~16:20 講演4

非日常から日常を点検する・日常から非日常を想像する

関西大学社会安全学部 准教授

菅 磨志保

災害を引き起こすのは、地震などの自然現象だけではありません。私たちの住む地域社会やそこでの暮らしに潜在している様々な問題も、「災害」を形づくる大きな要素になります。「もし地震が起こったら?」という視点から、私たちの暮らしに潜在する問題について、皆さんと共に考えていきます。

16:20~16:50 講演5

振り返りと総括

時事通信社 編集委員

中川 和之

今日の公開講座全体を振り返り総括いたします。併せて参加者との質疑応答も行います。

※事情により内容に変更が生じる場合があります。

申し込み要領

①はがきによるお申し込み

往復はがきに、住所・氏名(フリガナ)・電話番号、何を見て知ったか*をご記入のうえ

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7-1

関西大学 高槻ミュージズキャンパス公開講座係へ

- 返信用の宛先も必ず記入してください。
- 1枚のはがきに1名のみご記入ください。

②E-mailによるお申し込み

下記アドレスまで、メール件名に「高槻ミュージズキャンパス公開講座申込」、本文に「住所・氏名(フリガナ)・電話番号・何を見て知ったか*」をご記入のうえ、送信ください。メール件名1件につき1名のみお申し込みください。受講者には関西大学より、メール添付ファイルにて受講証をお送りいたしますので、添付ファイルをプリントアウトして当日ご持参ください。

メール送信先 musekoza@ml.kandai.jp

※携帯電話からのメール申込みはできません

申し込み受付

5月27日(月)~6月22日(土)(当日消印有効)。
定員を超えた場合、抽選。6月24日(月)以降、受講証を発行します。

受講料

500円(資料代として 当日、受付にてお支払いください)

お願い

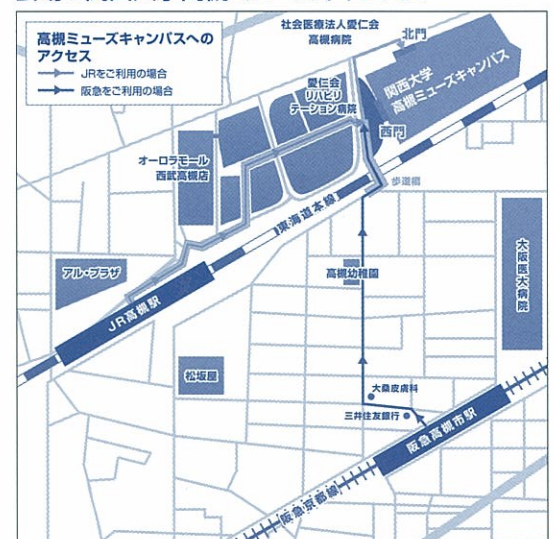
- 車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。
- キャンパス施設内は、全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。

お問合せ先

関西大学 高槻ミュージズキャンパス

TEL:072-684-4000 [月~金9:00~17:00]

会場：関西大学高槻ミュージズキャンパス



JR高槻駅から徒歩約7分 阪急高槻市駅から徒歩約10分